

事業計画書

① 団体名	株式会社川崎建設
② 事業名	EduVerse Gateway Project
③ テーマ区分	番号：2 子どもと若者が健やかに育つ社会づくりの推進
④ 補助回数	*同一事業における補助回数(年数)について、いずれかにチェック <input checked="" type="checkbox"/> 1回目 <input type="checkbox"/> 2回目 (経過措置)
⑤ 現状及び課題	<p>① 学校へのアクセスが困難な子どもたちの存在 現状では、健康上の問題、心理的な理由、いじめ、家庭環境など様々な要因により、学校に通うことが困難な子どもたちがいます。これらの子どもたちは、従来の教育システムから取り残されるリスクが高く、適切な教育を受ける機会が限られています。</p> <p>② 学習環境の多様性と柔軟性の不足 従来の学校教育では、一斉授業や固定されたカリキュラムが主流であり、個々の学習者の特性や興味、学習ペースを十分に考慮できていない場合が多いです。これにより、特定の学習スタイルに適応できない子どもたちが不利益を被る可能性があります。</p> <p>④ 社会的孤立と心理的サポートの不足 学校に通うことが困難な子どもたちは、同年代の仲間との交流機会が限られ、社会的に孤立しやすい状況にあります。また、これらの子どもたちに対する心理的なサポート等の提供が不十分なことも、大きな課題です。</p>
⑥ 事業目的	本事業は「寺子屋のような学習コミュニティをメタバースで再現し、現実社会へのスムーズな移行をサポートすること」を目的にします
⑦ 事業内容	<p>※備中県民局補助対象事業について、位置づけ(狙い)、概要、受益者(対象者)、実施地域、実施方法などを記載すること</p> <p>メタバース(仮想空間)を活用したフリースクール事業として計画しております。</p> <p>1. 位置づけ(狙い)： 本事業は、備中県民局管内の小学生および中学生に、デジタル空間における居場所を提供することを目的とします。メタバース技術を活用し、子どもたちが自由に学び、交流できる環境を提供することで、学習の機会拡大と心身の安定を目指します。</p> <p>2. 概要： 「EduVerse Gateway」は、メタバース空間と現実の笠岡市にある学習広場笠岡を連携させたユニークな教育プログラムです。このプログラムでは、参加する子どもたちがメタバース内で学習活動を行い、同時に現実世界の学習支援も受けられるように設計されています。</p> <p>3. 受益者(対象者)： 本事業の主な対象者は、備中県民局管内の小学生および中学生です。特に、従来の学校教育にアクセスが困難な子どもたちや、新しい学習方法に興味がある学生が受益者となります。</p> <p>4. 実施地域： 事業の実施地域は、笠岡市に位置する学習広場笠岡および専用のメタバース空間です。これにより、地域に根差した教育支援とグローバルなメタバース技術の組み合わせが実現されます。</p> <p>5. 実施方法： 本事業専用のメタバース空間を作成し、子どもたちがこの仮想空間内で集まり、学習活動を行います。メタバース内では、アバター</p>

一になり、個人的な勉強をしたり、わからないところをメタバース上で先生に質問をしたり、友達と会話を楽しんだりすることが出来ます。また定期的に各分野の専門家を講師に招き、メタバース調理実習や農業、漁業など見学したりできるコンテンツも準備します。

子供が主に学校に行く時間帯、AM9時からPM14時までの間にメタバース空間を開放します。学習広場笠岡講師陣が午前と午後の1時間間は先生に質問できるタイムを設け、それ以外の時間は自分のペースに合わせた学習時間とします。またボランティアスタッフをスポット的に配置することで、様々な方との交流を含め、心のケアができるように工夫します。

さらには、子どもたち同士で教え合うこと、話し合うことを重視します。普通教室ではなかなか聞けないこと、勉強でわからないことなども、ここに集う子どもたちが自主的に解決することによって自己肯定感や習熟度を増せるように導きます。顔が見えないメタバースの特性を活かし、あたらしいコミュニケーション能力の開発を行います。



***天災地変、感染症等で事業が実施できない場合の対応**

天災地変については、全く電力が供給できない場合は実施が不可能になるため対応ができませんが、感染症については非接触非対面で行えるので問題はないです

⑧事業の条件及びアピールポイント

先進性、先駆性、独創性

① 先進性

「EduVerse Gateway」は、全国的にも珍しいメタバースを活用したフリースクールとして、教育分野における新たな可能性を探求します。このプロジェクトは、デジタル技術を駆使して、従来の教育システムでは解決が困難だった課題に対処し、より包摂的で柔軟な学習環境を実現します。

② 先駆性

全国で希少な事業として、メタバースを利用したこの教育プログラムは、教育分野における画期的な進展を示しています。特に、学校に通うことが困難な子どもたちに対して、新しい学習と社会参加の機会を提供することで、地域社会における教育改革のモデルケースとなる可能性を持っています。

③ 独創性

このプロジェクトは、現実社会での困難をデジタル技術の力で緩和し、子どもたちが新たな自己表現の場を見つける手助けをします。また、メタバースという新しい学習環境を通じて、現実社会への橋渡しを行い、子どもたちが社会に適応しやすい環境を整備するという点で独創的です。

これらの要素は、「EduVerse Gateway」が教育分野における新し

い潮流を創り出すプロジェクトであることを示しています。

備中地域への波及効果

備中地域への波及効果：

① 教育機会の拡大

「EduVerse Gateway」は、メタバースを利用して備中地域の子どもたちに新しい学習の機会を提供します。これにより、地域内で学校に通うことが困難な子どもたちや、従来の教育方法に適応できない子どもたちも含め、すべての子どもが教育を受ける権利を享受できるようになります。

② 社会的包摂の促進

メタバース空間内での交流と学習は、子どもたちの社会的スキルを高め、相互理解と共感を促進します。このような経験は、地域社会におけるより包摂的で協力的な関係の構築に寄与します。

③ 地域経済への貢献

このプロジェクトにより、地域内の教育関連の雇用機会が増加する可能性があります。また、メタバース技術を活用した先進的な教育プログラムは、地域外からの注目を集め、地域経済の活性化にも寄与するでしょう。

④ 技術革新の推進

「EduVerse Gateway」は、教育分野におけるメタバース技術の活用を推進することで、地域内でのデジタル技術への理解と採用を促進します。これにより地域全体のテクノロジーに関する知識とスキルが向上します。

⑤ 地域ブランディングとイメージ向上

全国的にも珍しいメタバース教育プログラムの実施は、備中地域の革新的なイメージを強化します。これは、地域ブランディングとしての価値を持ち、他地域からの関心を引き寄せる要因となり得ます。

このように、「EduVerse Gateway」プロジェクトは、教育の機会拡大から社会的包摂、経済活性化、技術革新に至るまで、備中地域に多方面での波及効果をもたらすと期待されます。

その他、団体の持つ専門性やノウハウ等

団体の専門性とノウハウ：

① コーディネーター岡田氏の教育専門性

学習広場笠岡の岡田氏は、20年以上の豊富な教師歴を持ち、教育分野における深い専門知識と経験を有しています。岡田氏は、昨今の教育事情や地域事情に精通し、子どもたちとの適切な接し方についての豊富な知見を持っています。これにより、本プロジェクトは、子どもたち一人一人に合った教育アプローチを実施できる基盤を有しています。この特性を活かすためにコーディネーターとして参画していただきます。

② 川崎龍也のデジタル専門性

岡山メタバース博や笠岡韓国メタバース交流パビリオンを主催し、地域DXプロデューサーとして活躍しています。川崎は、リアルとデジタルの橋渡し役として、メタバース空間の設計と運営に関する専門知識を提供し、プロジェクトのデジタル側面を担います。また活動プラットフォームとしてガイアリンクのネットワークを使用します。

③ 教育とメタバースの融合

「EduVerse Gateway」は、教育とメタバース技術の融合を図るこ

	<p>とで、学習体験の新たな地平を開拓します。岡田氏の教育に対する深い理解と川崎のメタバースに関する専門知識が結びつくことで、革新的で効果的な学習環境が創造されます。</p> <p>このように、団体の持つ専門性やノウハウは、「EduVerse Gateway」プロジェクトを成功に導くための重要な要素となります。教育とデジタル技術の組み合わせにより、子どもたちにとって魅力的かつ効果的な学習体験が提供されることが期待されます。</p>																		
<p>⑨今年度の事業による直接の結果（アウトプット）及びその評価指標・評価方法</p> <p>※事業が複数の場合は、事業ごとに分けて記載</p>	<p>◎EduVerse Gatewayの実施に関する参加人数と具体的内容</p> <p>第1ターン 令和6年 6月から令和6年 8月 モニター期間 募集20名 第2ターン 令和6年 9月から令和6年11月 本運営開始 募集30名（継続含む） 第3ターン 令和6年12月から令和7年 2月 継続運営 募集40名（継続含む）</p> <p>具体的な内容は、まず令和6年6月から試験運用ということで8月、夏休み明けの3ヶ月をトライアル期間とします。新年度、GW明けの学校に通いにくくなり始めた子どもを対象にEduVerseに入ってもらおうモニターになっていただきます。そこで得た生の声を元に、夏休み明けの9月から本格運営を開始します。また同じ空間に小学生と中学生が一緒にいることで、様々な年齢を超えた交流が生まれます。第3ターンでは当初の2倍の人数を受け入れ、より効果ができる仕組みに仕上げていきます。</p> <table border="1" data-bbox="432 965 1458 1182"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>評価方法</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数、参加頻度、学習成果、社会的スキルの向上度。</td> <td>定期的なフィードバック調査、学習進捗の追跡、参加者と保護者からのフィードバック。</td> <td>参加率、満足度80%</td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	評価方法	目標	参加者数、参加頻度、学習成果、社会的スキルの向上度。	定期的なフィードバック調査、学習進捗の追跡、参加者と保護者からのフィードバック。	参加率、満足度80%												
評価指標	評価方法	目標																	
参加者数、参加頻度、学習成果、社会的スキルの向上度。	定期的なフィードバック調査、学習進捗の追跡、参加者と保護者からのフィードバック。	参加率、満足度80%																	
<p>⑩今年度に期待される成果・効果（短期アウトカム）及びその評価指標・評価方法</p> <p>※事業が複数の場合は、事業ごとに分けて記</p>	<p>事業参加者</p> <p>メタバースを通じた新しい学習体験への参加、社会的スキルと自己表現の向上。</p> <table border="1" data-bbox="432 1317 1458 1541"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>評価方法</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加頻度、学習成果、社会的スキルの向上度。</td> <td>定期的なフィードバック調査、学習進捗の追跡、参加者と保護者からのフィードバック。</td> <td>満足度80% 学校への復帰生徒50%</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業実施団体</p> <p>プロジェクト運営の効率化、参加者との良好な関係構築、地域社会への貢献。</p> <table border="1" data-bbox="432 1675 1458 1854"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>評価方法</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プロジェクトの運営効率、参加者満足度、地域社会からのフィードバック。</td> <td>内部評価、参加者調査、地域コミュニティとの協議。</td> <td>満足度80% 実施回数3回</td> </tr> </tbody> </table> <p>備中地域</p> <p>教育機会の拡大、地域社会への包摂的アプローチの普及、地域ブランディングの強化。</p> <table border="1" data-bbox="432 1966 1458 2065"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>評価方法</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域内の教育アクセスの拡大、地域コミ</td> <td>地域内学校や団体からのフィードバック</td> <td>事業協力したい方の増加（管内から10名）</td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	評価方法	目標	参加頻度、学習成果、社会的スキルの向上度。	定期的なフィードバック調査、学習進捗の追跡、参加者と保護者からのフィードバック。	満足度80% 学校への復帰生徒50%	評価指標	評価方法	目標	プロジェクトの運営効率、参加者満足度、地域社会からのフィードバック。	内部評価、参加者調査、地域コミュニティとの協議。	満足度80% 実施回数3回	評価指標	評価方法	目標	地域内の教育アクセスの拡大、地域コミ	地域内学校や団体からのフィードバック	事業協力したい方の増加（管内から10名）
評価指標	評価方法	目標																	
参加頻度、学習成果、社会的スキルの向上度。	定期的なフィードバック調査、学習進捗の追跡、参加者と保護者からのフィードバック。	満足度80% 学校への復帰生徒50%																	
評価指標	評価方法	目標																	
プロジェクトの運営効率、参加者満足度、地域社会からのフィードバック。	内部評価、参加者調査、地域コミュニティとの協議。	満足度80% 実施回数3回																	
評価指標	評価方法	目標																	
地域内の教育アクセスの拡大、地域コミ	地域内学校や団体からのフィードバック	事業協力したい方の増加（管内から10名）																	

	ユニティの意識変化	、地域社会調査、メディアの反応分析。	オンライン協議3回実施
⑪将来的に期待される成果・効果（中・長期アクトム） ※事業が複数の場合は、事業ごとに分けて記載	事業参加者	<ul style="list-style-type: none"> 参加者の自己表現能力と社会的スキルが向上し、自信と社会参加への意欲が高まることが期待されます。 学習への積極的な関与が促進され、教育に対する意欲と成績が向上することが期待されます。 	
	事業実施団体	<ul style="list-style-type: none"> 教育プログラムの革新と運営効率が向上し、他の教育機関に対してモデルケースを提供することが期待されます。 地域社会との連携強化が進み、教育における地域協力のネットワークが拡大することが期待されます。 	
	備中地域	<ul style="list-style-type: none"> 地域全体の教育水準が向上し、包摂的なコミュニティの形成が促進されることが期待されます。 地域の革新的イメージの確立とブランディングが進み、外部からの関心と支援が増加することが期待されます。 	
⑫事業継続化に向けた取組及び事業展開の予定（資金確保の見通し等）	<p>「EduVerse Gateway」プロジェクトの事業継続化と展開に関する取り組みは以下の通りです：</p> <p>① 事業継続化に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者からの月謝：事業の主要な収入源として、参加者からの月謝を設定します。この月謝は、メタバースプラットフォームの維持費用や教育コンテンツの開発費用に充てられます。 スポンサーシップの獲得：地域企業や教育関連の組織をスポンサーとして募り、プロジェクトの財政基盤を強化します。スポンサーからの資金は、プログラムの運営や新しいイニシアティブの開発に使用されます。 助成金や補助金の活用：地方自治体や教育関連の助成金、補助金を積極的に活用し、事業の持続的な運営資金を確保します。 <p>② 事業展開の予定</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域外への展開：備中地域での成功を基に、プロジェクトを他の地域にも展開し、より多くの子どもたちにサービスを提供する計画です。 新しい教育プログラムの開発：現在のプログラムの評価を基に、新しい教育コンテンツや活動を開発し、プロジェクトの魅力を高めます。 パートナーシップの拡大：他の教育機関や団体とのパートナーシップを拡大し、共同でのプログラム開発や相互のリソース共有を図ります。 <p>これらの取り組みにより、「EduVerse Gateway」プロジェクトは継続的な運営と事業展開を目指し、資金確保の見通しを強化していきます。</p>		

<記入上の注意事項>

- 各項目は、簡潔かつ明瞭に記入してください。
- 「④補助回数」欄の2回目は、経過措置規定を適用した上で、令和5年度事業に採択された事業を令和6年度以降も継続実施している場合のみ選択ができます。
- 「⑤現状及び課題」欄は、事業実施の要因となる地域課題や問題点、社会的背景等について記入してください。なお、根拠となる統計データや当事者の声などがあれば、それも示してください。
- 「⑥事業目的」欄は、事業を通じて実現したいこと、目指す将来的な姿（社会、経済、生活、環境等）について、「⑤現状及び課題」、受益者（対象者）等を踏まえて記入してください。
- 「⑦事業内容」欄は、課題解決や「⑥事業目的」における位置づけ（狙い）とともに、概要、受益者（対象者）、実施地域、実施方法などを事業項目ごとに具体的に記入してください。また、天災地変、感染症等で事業が実施できない場合の対応（代替案の検討、事業縮小、事業中止等）についても併せて記入してください。なお、事業が複数の場合は、それぞれの事業ごとに内容を記入してください。

日 程 計 画 表

年月	事業内容	場所	規模等
R6年 4月	担当課打ち合わせ	備中県民局	
5月	EduVerse Gateway 専用空間作成開始 (制作期間1ヶ月)	Metaverse	
6月	備中県民局管内教育委員会等説明会 参加者募集開始 第1ターンスタート(トライアル期間)	Metaverse	20名
7月	1ヶ月経過ヒアリング	オンライン	20名
8月	2ヶ月経過ヒアリング 第2ターン募集開始	オンライン WEB	20名
9月	第1ターン終了ヒアリング 第2ターン開始	オンライン	20名 30名
10月	1ヶ月経過ヒアリング	オンライン	30名
11月	2ヶ月経過ヒアリング 第3ターン募集開始	オンライン WEB	30名
12月	第2ターン終了ヒアリング 第3ターン開始	オンライン	40名
R7年 1月	1ヶ月経過ヒアリング	オンライン	40名
2月	2ヶ月経過ヒアリング	オンライン	40名
3月	事業完了		

<記入上の注意事項>

- 1 事業実施年度の年間スケジュール案を記入してください。
- 2 「場所」欄は、想定される実施場所を記入してください(例:〇〇市文化センター、△△市内)。
不明な場合、特定できない場合等は未記入で構いません。
- 3 「規模等」欄は、参加予定人数、印刷部数等数量的に想定される量を記入してください。不明な場合は未記入で構いません。